解析学 I 解答例

2016.10.17

■ 次の間に答えよ.

- (1) 命題「任意の $\varepsilon > 0$ に対して $|a| < \varepsilon$ が成り立つ.」において a はどのような値か調べよ.
- (2) n を自然数とする. 命題「 n^2 が 2 で整除できるならば,n も 2 で整除できる.」を背理法と対偶を用いてそれぞれ証明せよ.
- (解) (1): |a| > 0 と仮定する. $\varepsilon = |a|/2$ とおき、命題を適用すると、

$$0<\mid a\mid <\varepsilon =\frac{\mid a\mid }{2}<\mid a\mid$$

となり、矛盾である. したがって、|a|=0、つまり、a=0 である.

(2) 背理法: n^2 は 2 で整除でき、かつ、n は 2 で整除できないと仮定する。 ある $k\in\mathbb{N}$ を用いて n=2k-1 と表せ、

$$n^2 = (2k-1)^2 = 2(2k^2 - 2k) + 1, \qquad 2k^2 - 2k \in \mathbb{Z}$$

となり、 n^2 は 2 で整除できないことになる.これは n^2 が 2 で整除できることに矛盾である.したがって、 n^2 が 2 で整除できるならば、n も 2 で整除できる.

対偶: n が 2 で整除できないと仮定する. ある $k \in \mathbb{N}$ を用いて n = 2k - 1 と表せるので,

$$n^2 = (2k-1)^2 = 2(2k^2-2k)+1, \qquad 2k^2-2k \in \mathbb{Z}$$

となり、 n^2 は 2 で整除できない。対偶をとることにより、 n^2 が 2 で整除できるならば、n も 2 で整除できる。 \blacksquare